

妹背牛温泉の潜在能力を解明する

温泉学者、医学博士 松田忠徳

～第10回 ペペルで、「疾病に打ち克つ」抗酸化力を高める（2）～

前回の「抗酸化能（力）」の結果を少し詳しく見てみましょう。抗酸化力のレベルを数値化した表（【図表1】）を右に示します。

【図表1】BAPテストの結果による抗酸化力の総合評価

| | |
|---------------|------------|
| 2,200 以上 | 適値 |
| 2,200 ～ 2,000 | ボーダーライン |
| 2,000 ～ 1,800 | 抗酸化力がやや不足 |
| 1,800 ～ 1,600 | 抗酸化力が不足 |
| 1,600 ～ 1,400 | 抗酸化力がかなり不足 |
| 1,400 以下 | 抗酸化力が大幅に不足 |

(正常域 = 2,200 ～ 4,000 μ mol/L)

1) 「週1回通い湯治モニター」の検証【図表2】

このモニター群は見事に18名全員が「適値（2,200以上）」の範囲内に分類されただけでなく、平均で2,797.4 μ mol/Lと非常に抗酸化力のあるモニター群でもあることが判明しました。

モニター平均で見ても、この群は抗酸化力は有意に減少しました。前回も述べたように、それでも「適値」の範囲内にあり、健康には問題ありません。しかも、「適値（2,200）」の基準をかなり上回る2,400 μ mol/Lを超えるモニターがなお全体の約55.6%を占めています。(なお、なぜ減少したかは次回にふれる予定です)

【図表2】「週1回通い湯治モニター」の検証結果

| | 湯治前 | 湯治後 |
|---------------|------------|-------------|
| 1,900 以下 | 0人 (0.0%) | 2人 (11.1%) |
| 1,901 ～ 2,200 | 0人 (0.0%) | 1人 (5.6%) |
| 2,201 ～ 2,500 | 2人 (11.1%) | 10人 (55.6%) |
| 2,501 ～ 2,800 | 8人 (44.5%) | 3人 (16.7%) |
| 2,801 ～ 3,000 | 4人 (22.2%) | 1人 (5.6%) |
| 3,000 以上 | 4人 (22.2%) | 1人 (5.6%) |

2) 「週2回通い湯治モニター」の検証【図表3】

17名中16名が「適値」（15名）と「ボーダーライン」（1名）に達する。

「週2回通い湯治モニター」の抗酸化力は、前回見たように増加傾向となりました。このモニター群は湯治前に平均で2,468.6 μ mol/Lとかなり高い抗酸化力を有していたことが分かります。

【図表3】を確認すると、2名以外のモニターは全員「適値」です。湯治後にいわば健康群である「適値」と「ボーダーライン」で、17名中16名、94.1%を占めたことになります。

3) 「飲泉モニター」の検証【図表4】

「飲泉モニター」も「週2回通い湯治」同様に、15名のモニター平均で「適値」内で増加傾向となりました。

【図表3】「週2回通い湯治モニター」の検証結果

| | 湯治前 | 湯治後 |
|---------------|------------|------------|
| 1,900 以下 | 0人 (0.0%) | 1人 (5.9%) |
| 1,901 ～ 2,200 | 3人 (17.6%) | 1人 (5.9%) |
| 2,201 ～ 2,500 | 7人 (41.2%) | 8人 (47.0%) |
| 2,501 ～ 2,800 | 6人 (35.3%) | 6人 (35.3%) |
| 2,801 ～ 3,000 | 0人 (0.0%) | 1人 (5.9%) |
| 3,000 以上 | 1人 (5.9%) | 0人 (0.0%) |

【図表4】「飲泉モニター」の検証結果

| | 湯治前 | 湯治後 |
|---------------|------------|------------|
| 1,900 以下 | 0人 (0.0%) | 0人 (0.0%) |
| 1,901 ～ 2,200 | 2人 (13.3%) | 3人 (20.0%) |
| 2,201 ～ 2,500 | 6人 (40.0%) | 8人 (53.3%) |
| 2,501 ～ 2,800 | 6人 (40.0%) | 0人 (0.0%) |
| 2,801 ～ 3,000 | 0人 (0.0%) | 3人 (20.0%) |
| 3,000 以上 | 1人 (6.7%) | 1人 (6.7%) |

(この項、次回に続きます)